



Title	有限D-多價群の既約な群對に就いて
Author(s)	内海, 勇蔵
Citation	全国紙上数学談話会. 1949, 2(13), p. 457-458
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/75272
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

138. 有限D-多価群の既約な群對に就いて

阪大 内海 明 鈺

G_1, G_2 を群として, H_1, H_2 を夫々の部分群とし, 今 $G_1/H_1 \cong G_2/H_2$ (右分群の, 多価群としての全型) とします. 茲で H_i の G_i に於ける指数が有限で且 H_1 及 H_2 は G_1, G_2 の単位元以外の正規部分群を含まないと假定します. 其の時に $G_1 \cong G_2$, 全對應で $H_1 \cong H_2$ なる事が結論されると, M. Krasner は C. R. Paris 1941 に書いて, 後 1944 に全じ雜誌に反例を挙げてある由が *Math. Rev.* で知られますが, 目今彼の其等論文を見る便宜が得ないので 過渡得た簡單な例を以下に書き留めておきます. つまり有限D-多価群の既約な群對が一意にきまらない (全型の意味で) 事に対する实例です.

G_1 を次の元からなる 24 次の Y_6 の部分群とする.

(1), (12), (34), (56), (34)(56), (12)(56), (12)(34), (12)(34)(56),

—457—

(135)(246), (136)(245), (145)(236), (146)(235),
(153)(264), (154)(263), (163)(254), (164)(253),
(136245), (135246), (145236), (146235),
(154263), (153264), (163254), (164253),

H_1 として 1 を不変にする G_1 の元全体の作る群.

$G_2 = G_1 \cap \sigma_4, \quad H_2 = H_1 \cap \sigma_4.$

Vgl. Y. Utumi, On hypergroups of group right cosets.
(註刊)